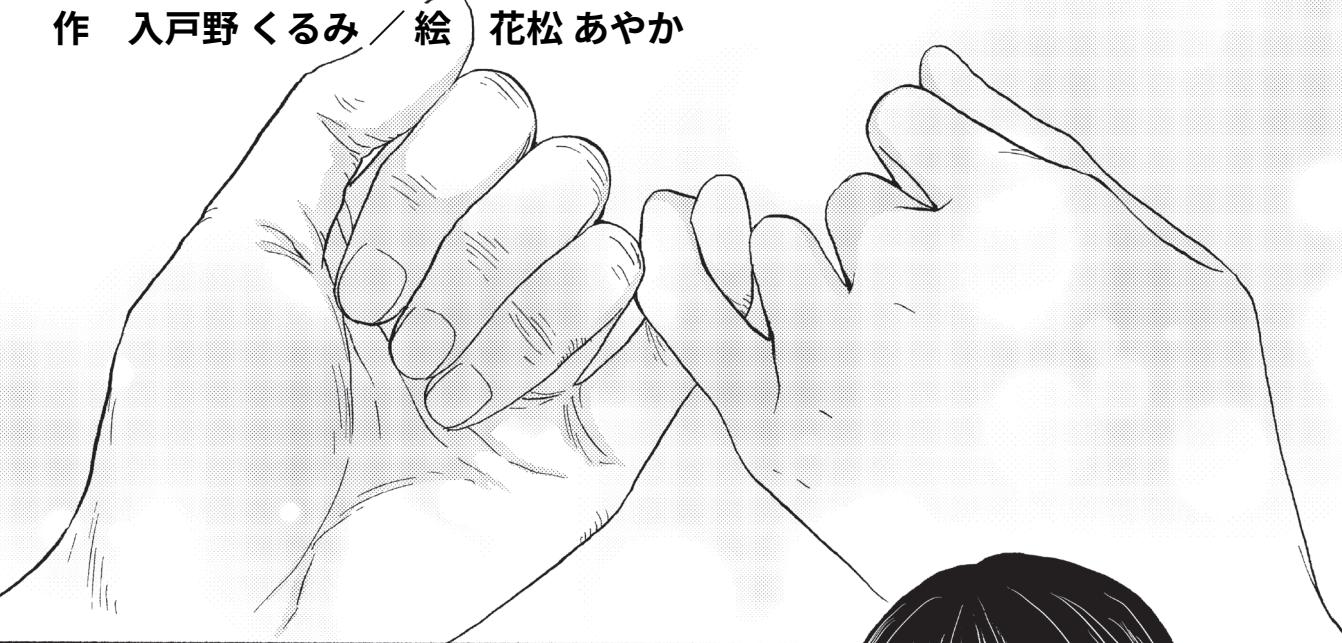
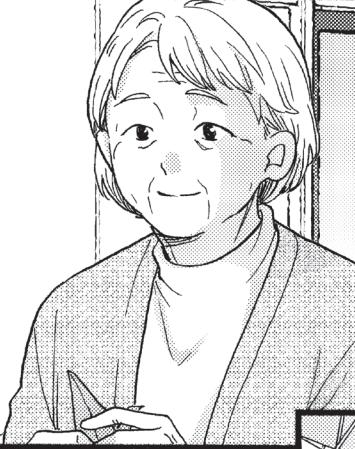
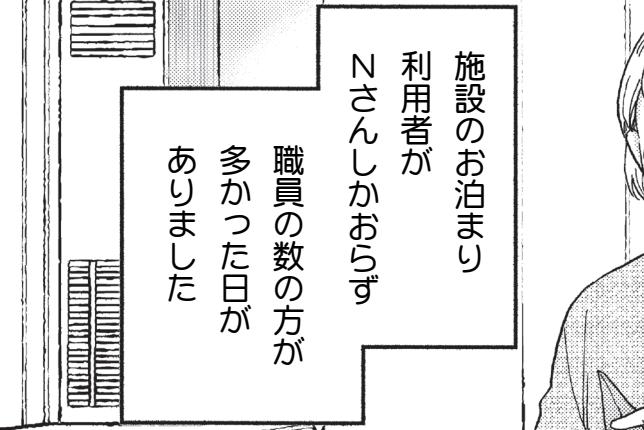


# 「指切りげんまん」

作 入戸野くるみ 絵 花松あやか







それには

ご自身の今の不安や  
葛藤を話し始めました



息子夫婦は  
よく気にかけて  
くれるけど  
負担に  
なっちゃってるんじや  
ないから



いりいり時  
なんと返すべきか  
わかりません

年取るって  
嫌ねえ…



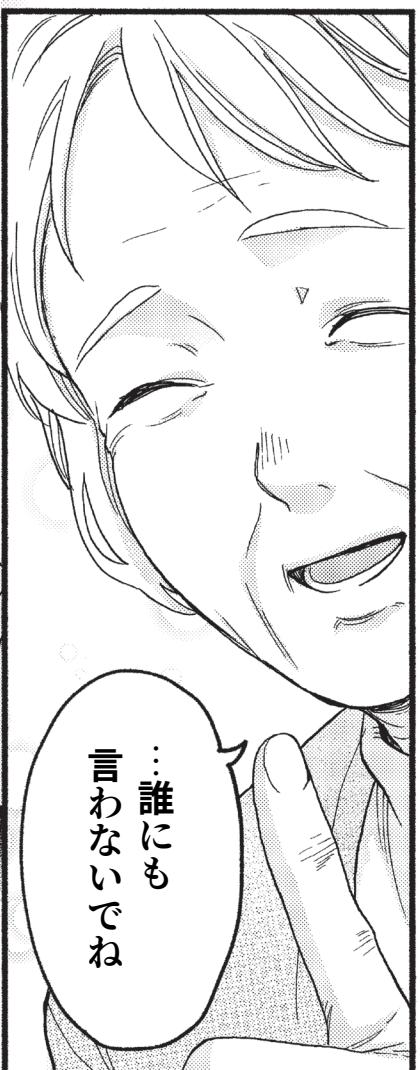
私はこれらの方に  
耳を傾け、  
相槌を打つことしか  
できませんでした

その時に  
かけて欲しいと思つ  
言葉をかけています

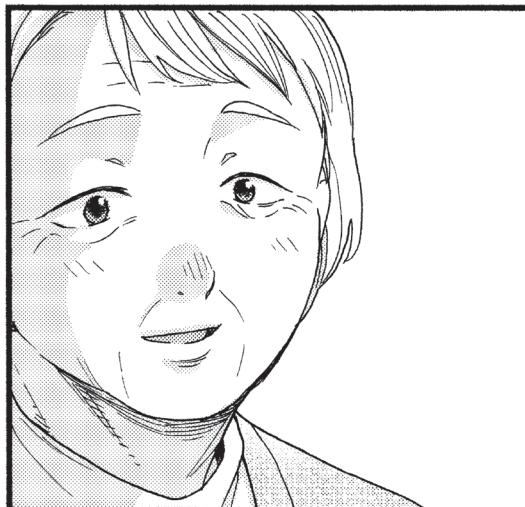
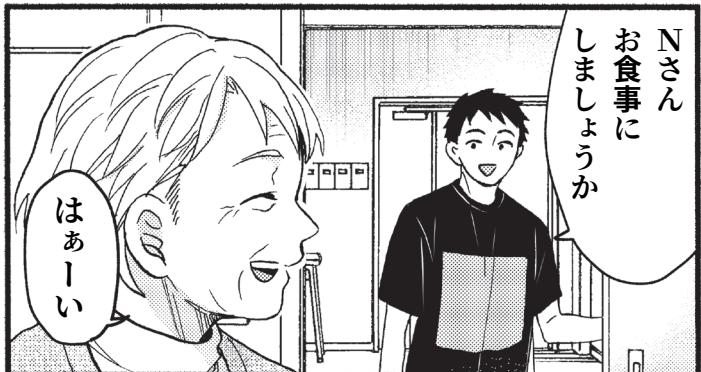
先輩職員は  
利用者さんと  
話をする時

寄り添い

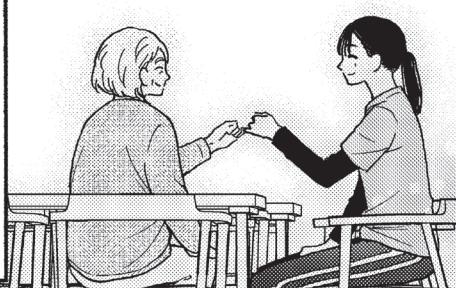
……氣の効いた  
言葉の一つも  
言えない  
……



Nさん  
お食事に  
しましようか



Nさんは  
私が今欲しかった  
言葉をくれました



指切りげんまん

必ず誰かが  
見ていてくれる

自分にできることが  
あるのなりま

それを  
一生懸命  
やり続けよ

ルの手が」とが  
でいた日に  
なつました

これからも何事にも  
一生懸命頑張つて  
いわたいと願ひます



## やまなし介護感動ストーリー大賞 グランプリ作品

### 「指切りげんまん」 入戸野 くるみさん

私は、介護福祉士として働き始めて半年が経つ新卒者です。ある日、お泊まりが利用者Nさんしかおらず、職員の数の方が多かった日がありました。私はいつも通り掃除を始めようとしていましたが、先輩職員に「利用者Nさんとお話しして。」とミユニケーション図るのも仕事だからね。」と言われ、先輩職員に申し訳なさを感じながらも、利用者Nさんのもとへ行きました。

最初は世間話から始めましたが、Nさんの方から自身の今の不安や葛藤を話し始めました。私はその方の話に耳を傾け、相槌を打つことしかできませんでした。先輩職員は利用者さんと話をする時、寄り添い、その時にかけて欲しいと思う言葉をかけています。しかし私はいつも、利用者さんの話を聞くだけです。その時も、Nさんが話をしてくださる中で、自分の不甲斐なさを感じていました。するとNさんが、「私はあんたのこと信頼してるから誰にも言わないでね。」と笑顔で言つてくださいり、その後もNさんは、「あんたはいつも一生懸命働いてるから、それを見て私はあんたを信頼してるんだよ。」とNさんから私が今欲しいと思つた言葉を言ってくださいました。私は嬉しくなり、小指を差し出して指切りげんまんをしました。

自分にできることがあるのならば、それを一生懸命やり続ければ、必ず誰かが見てくれている、ということを学ぶことができた日になりました。これからも、何事にも一生懸命頑張っていきたいと思います。